

2022年度

収支決算書

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

2022年度 収支決算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 収入の部

(単位:千円)

科 目	予算(A)	決算(B)	増 減(B)-(A)
(1)会費	23,336	23,680	344
正会員会費	20,100	20,490	390
賛助会員会費	3,236	3,190	△ 46
(2)事業	740	577	△ 163
研修事業費	90	0	△ 90
地区部会費	0	0	0
資料頒布費	650	577	△ 73
特別事業費	0	0	0
(3)事業外(雑収入・受取利息他)	410	1,200	790
当期収入 合計	24,486	25,457	971

2. 支出の部

(単位:千円)

科 目	予算(A)	決算(B)	増 減(B)-(A)
(1)事業費	6,130	8,785	2,655
会員維持拡充費	950	655	△ 295
研修事業費	150	0	△ 150
地区部会費	0	0	0
資料頒布費	30	11	△ 19
委員会活動費	4,500	4,081	△ 419
特別事業費	500	1,408	908
作成費	0	2,630	2,630
(2)管理費	23,452	18,138	△ 5,314
会議費	4,100	4,048	△ 52
旅費交通費	20	41	21
通信費	800	393	△ 407
消耗品費	1,800	1,458	△ 342
雑費	600	723	123
広告宣伝費	0	0	0
人件費	7,500	4,710	△ 2,790
借室料	5,000	5,016	16
外部委託費	3,000	1,092	△ 1,908
支払顧問料	600	396	△ 204
租税公課	1	0	△ 1
法定福利費	0	1	1
減価償却費	31	260	229
(3)その他	0	0	0
特別損失	0	0	0
当期支出 合計	29,582	26,923	△ 2,659

3. 当期収支差額

(単位:千円)

当期収入 - 当期支出	-5,096	-1,466	3,630
-------------	--------	--------	-------

4. 繰越収支差額

(単位:千円)

前期 繰越収支 差額	32,530	32,530	0
次期 繰越収支 差額	27,434	31,064	3,630

2022年度 収支決算書

＜概要＞

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 当期の概要と繰越金

(1) 当期の概要

(単位:円)

	予 算	決 算	差 異	備 考
収 入	24,486,000	25,456,969	+970,969	
支 出	29,581,908	26,923,024	△2,658,884	
収支差額	△5,095,908	△1,466,055	+3,629,853	

(2) 繰越金

(単位:円)

	予 算	決 算	差 異	備 考
前期繰越金	32,530,131	32,530,131		
次期繰越金	27,434,223	31,064,076	+3,629,853	

2. 主な報告事項

(1) 収入関連

① 会費収入

正会員10社増3社減、賛助会員1社減により+344千円

② 事業収入

研修事業費は工場見学参加費だが未実施、

また資料頒布費はメンテナンスポケットブック等の頒布数見込みより減少で、△73千円

(2) 支出関連

① 事業費

委員会活動費；

西工大・新居浜高専等への出張費抑制△419千円

特別事業費；

プラントメンテナンスショー東京・大阪に出展+908千円

作成費；

HPリニューアル費用当年度分+2630千円

② 管理費

通信費；

電話代Web代プランの見直し△407千円

人件費；

非常勤派遣職員出勤低減により△2,790千円

外部委託費；

メンテナンスガイドブック作成費を翌年に継続△1,980千円

当期収支差額

予算△5,096千円に対し、上記記載のような要因により収支差額は△1,466千円

3. 剰余金の処理

次期繰越金は31,064千円

以上

正味財産増減計算書

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I. 増加原因の部		
1. 会費収入	23,680,000	
2. 事業収入	576,570	
3. 事業外収入	<u>1,200,399</u>	
増加額合計		25,456,969
II. 減少原因の部		
1. 事業費	8,944,402	
2. 管理費	17,978,622	
3. その他	<u>0</u>	
減少額合計		26,923,024
当期正味財産増加額		△ 1,466,055
前期繰越正味財産額		<u>32,530,131</u>
期末正味財産合計額		<u>31,064,076</u>

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	41,471,300	
未収金	90,980	
貯蔵品	101,811	
前払費用	396,097	
流動資産合計		42,060,188
2. 固定資産		
有形固定資産		
工具器具備品	605,166	
減価償却累計額	△ 520,830	
有形固定資産合計	84,336	
無形固定資産		
ソフトウェア	601,333	
無形固定資産合計	601,333	
投資その他資産		
保証金	1,663,038	
投資その他資産	0	
投資その他資産合計	1,663,038	
固定資産合計		2,348,707
資産の部合計		<u>44,408,895</u>
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	983,260	
前受金	12,350,000	
預り金	11,559	
流動負債合計		<u>13,344,819</u>
負債の部合計		<u>13,344,819</u>
III. 正味財産の部		
次期繰越正味財産	<u>31,064,076</u>	
正味財産合計		31,064,076
(うち当期正味財産増加額)		<u>(-1,466,055)</u>
負債および正味財産合計		<u>44,408,895</u>

財産目録

2023年3月31日現在

(単位:円)

I. 資産の部		
1. 流動資産		
普通預金 1	みずほ銀行銀座中央支店(口座 No.1352119)	0
普通預金 2	みずほ銀行銀座中央支店(口座 No.1499209)	41,416,120
普通預金 3	みずほ銀行銀座中央支店(口座 No.1093810)	0
定期預金	みずほ銀行銀座中央支店(口座 No.6192772)	0
現金	金庫	55,180
貯蔵品	3月末切手残,レターパック	101,811
未収金	頒布資料代金, フランジ認定講師審査料	90,980
前払費用	(株)エムプランニング(4月借室料)他	396,097
流動資産合計		42,060,188
2. 固定資産		
有形固定資産		
工具器具備品	ソニーVAIO PC, レノボPC, 富士通PC	605,166
減価償却累計額	ソニーVAIO PC, レノボPC, 富士通PC	△ 520,830
無形固定資産		
ソフトウェア	ホルディングシミュレーター BT Master ソフトウェア	601,333
投資その他資産		
保証金	(株)エムプランニング 敷金	1,663,038
固定資産合計		2,348,707
資産合計		44,408,895
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	(株)大塚商会 リース料他	983,260
前受金	2023年度 年会費	12,350,000
預り金	源泉所得税	11,559
流動負債合計		13,344,819
負債合計		13,344,819
正味財産		31,064,076

注記事項

1. 資金の範囲は流動資産および固定資産並びに流動負債である。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	1,810,342	41,471,300
未 収 金	115,494	90,980
貯 蔵 品	44,119	101,811
前 払 費 用	396,097	396,097
流動資産合計	2,366,052	42,060,188
工具器具備品	605,166	605,166
減価償却累計額	△ 436,497	△ 520,830
無形固定資産	0	601,333
投資その他資産	1,663,038	1,663,038
固定資産合計	1,831,707	2,348,707
資産合計	4,197,759	44,408,895
未 払 金	905,325	983,260
前 受 金	0	12,350,000
預 り 金	0	11,559
流動負債合計	905,325	13,344,819
負債合計	905,325	13,344,819
次期繰越収支差額	3,292,434	31,064,076

監査報告書

私は、「一般社団法人日本メンテナンス工業会」の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度に係る収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録を監査した結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和5年4月19日

東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
虎ノ門ヒルズビジネスタワー5階

アクトアドバイザーズ税理士法人
代表社員 税理士 杵淵 祥志



監査報告書

私は、「一般社団法人日本メンテナンス工業会」のここに掲げられている2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度の計算書類、すなわち収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録について監査を行ないました。

この監査にあたって、私は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続を実施しました。

監査の結果、上記の計算書類は法人会計の基準にならい、定款に従って「一般社団法人日本メンテナンス工業会」の2023年3月31日現在の財産の状態及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況を正しく示しているものと認めます。

また理事の職務の執行を監査するため理事会に出席するほか、理事から職務の執行に関する報告を聞き検討した結果、理事の職務の執行は定款に違反するなどの事実は認められず、適正に執行されているものと認めます。

2023年 5月 23日

一般社団法人日本メンテナンス工業会

監事 浅水 哲也 

監事 系原 礼 